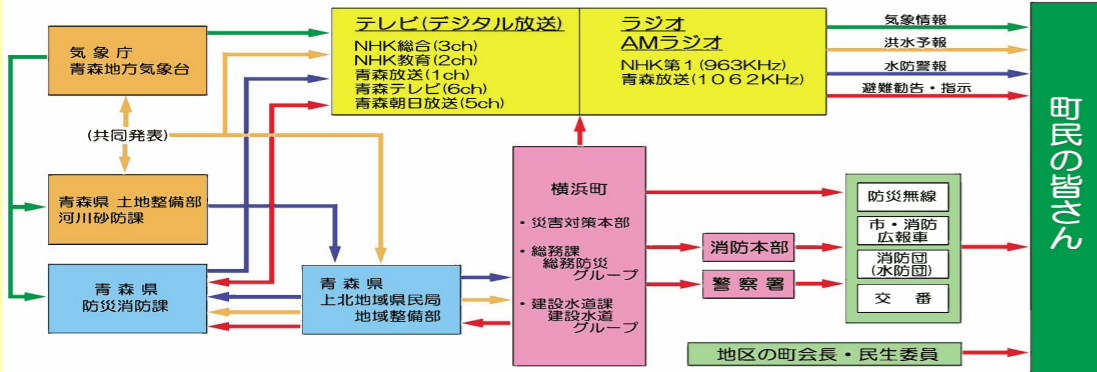


大町町会 太郎須田溜池 地域ハザードマップ

■ 気象情報や避難情報の伝わり方



いざというときに備えて、地区の連絡網などをもう一度確認しておきましょう。

わが家の防災メモ

避難場所を確認しておきましょう

わが家の避難場所 _____

わが家の集合場所 _____

災害時の緊急連絡先 _____

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

■ ため池決壊のメカニズム

○ 豪雨による ため池の被災形態

区分	被災形態	被災メカニズム
越流破壊		豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出すと、下流斜面を流下することによって、破壊する可能性がある。 また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して決壊する可能性がある。
すべり破壊		貯留した水と降雨が堤体の中へ浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する可能性がある。
浸透破壊		堤体内部が劣化して、水を透る機能が低下すると、貯水位が上昇した時に堤体中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する可能性がある。 また堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し破壊する可能性がある。

○ 地震による ため池の被災形態

区分	被災形態	被災メカニズム
クラック		堤体の頂部などにクラック（亀裂）が発生する可能性がある。 堤体の上下流方向に生じるクラック（亀裂）は水みちとなることもあり、特に注意が必要である。
沈下		堤体の形状をほぼ保ち、クラック（亀裂）などを伴いながら堤体が沈下する可能性がある。 多くは軟らかい地盤で発生している。
斜面崩壊		堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる可能性がある。
斜面すべり		地震動により堤体の法面にすべりが発生する可能性がある。
崩壊		堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する可能性がある。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられる。

浸水深の目安			避難困難
	3.0m以上	2階の床上以上の浸水	
	2.5~3.0未満	2階の床下までの浸水	
	2.0~2.5未満	1階の軒下までの浸水	
	1.5~2.0未満	大人の身長を超える程度	
	1.0~1.5未満	大人の肩までつかる程度	
	0.5~1.0未満	大人の腰までつかる程度	通行は危険
	0.5未満	大人の膝までつかる程度	通行には注意が必要

全域の
浸水想定区域図は
裏面にあります。

